



やすりや砥石で削り、模様を作ります。温かみのある輝きが好きなので、手磨きして仕上げるそうです

大久保さんの江戸切子とは？

通常の切子づくりで行う下絵を描かず、簡単なアタリだけをつけて直接グラインダーで削って仕上げています。紙などに一度描いてから作業すると、それに頼ってしまい描かないと彫れなくなってしまいますから。ガラスをキャンバスに見立て、技と遊び心を盛り込んでいます。日常的に使って楽しんでいただけたらと思っています。

大島のどこが好き？

都心へのアクセスがよいので高層マンションが増えていますが、懐かしさが感じられる路地もまだ残っています。基本は工房で作業していますが、催事などで日本中を巡っていることも多いので、帰ってくるとホッとします。昔ながらの人情あふれる商店街も魅力のひとつですね。

大久保さんの江戸切子を買うなら！

百貨店催事、「東京スカイツリー®展望デッキフロア345」で購入できます。詳細は下記へ

大久保硝子工芸

☎03-3638-1698



制作期間1週間以上、江戸切子の伝統的な模様を配した鉢



ウサギやネコをモチーフにしたアクセサリも各種。楽しいストーリーのあるデザインが評判



左の伝統模様のほか、右の大久保さんならではの遊び心を盛り込んだくい飲み（東京スカイツリー®展望デッキフロア345限定商品）も人気

遊び心をガラスのキャンバスに 人情商店街と路地が魅力的な街・大島



区内で活躍する、注目の人々を紹介！

第2回目は、大島に江戸切子の工房を構える大久保忠幸さんを訪ねました。

江戸切子
伝統工芸士／東京マイスター
大久保 忠幸さん



工房に生まれ父のもとで学び職人歴50年余り。「ひらめき、ときめき、きらめきを大切にしています」